

文字ノ關

88

柱

神代の二柱とは伊邪那岐命・伊邪那美命のこと。二神は天地を支えし天の御柱を回りにて結ばれたという。昔から柱は神祇、人體を數ふる敬稱とされた▼平安中期の幼學書『口遊』に「雲太 和二京三」とあり。貴族の子弟は口遊み覺えたそな。六字は三大建物のこと。最高は出雲大社本殿、次いで東大寺大仏殿、禁中大極殿の順と傳わる▼大社本殿の高さは現在の數倍！中古は四十八米、太古は九十六米とも。柱の構造は三本の木を一つにした三位一體だ。柱は骨である▼さて

柱なる字は木と主の合字。ハシラ・コトヂ・ササフと訓ず。殿堂等の丸柱の太き物は楹と書いた『大字典』▼伊勢神宮正殿の床下中央には檜の柱がある。心御柱しんのみはしらとも忌柱とも稱す。神靈の依りつく深奥なる由緒の柱である▼柱は神靈の宿る依代の一つとされた。古代エジプトのオベリスクも太陽神ラーを象徴する石柱である。柱は天と地をつなぐ▼古今東西數ある柱の中でも厄介なのは鼻の柱だ。この世は鼻っ柱の強き者者の争い、取り合い、穢し合いである。果たして鼻っ柱の乱立は世界の柱に變ずるのか▼鼻の柱とは如何なモノか？それは鼻の柱に憑依しているモノに秘め隠されている。土台に無理があれば柱は倒れ崩壊の運命だ